

Ⅱ－２【衛生環境試験所編】事業の概要と実績

1 試験検査

(1) 感染症等検査（平成 8 年度開始 令和 2 年度予算：10,280 千円 一部国補助）

ア 感染症検査（平成 11 年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という）に基づき、ノロウイルスやロタウイルス等を原因とする感染性胃腸炎等の患者発生時に、病原体及び感染経路の解明と感染拡大防止のために、患者や接触者等の便等の検査を実施する。

（保健所編 感染症の発生・まん延防止対策の実施 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》感染症検査実施状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
検体数	156	143	122
項目数計	219	206	122
赤痢菌	3	6	-
腸管出血性大腸菌	23	26	38
ノロウイルス	125	109	84
サポウイルス	21	18	-
ロタウイルス	21	31	-
アデノウイルス	21	16	-
インフルエンザウイルス	5	-	-

イ 感染症発生動向調査事業に係る検査（平成 11 年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症発生動向調査は、「感染症法」に基づき、全国規模で実施されている。本市においても、医療機関の協力を得て、感染症の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、予防措置を講ずることを目的に、病原体検査を実施する。

（保健所編 感染症発生動向調査事業 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、 宇都宮市感染症発生動向調査事業実施要綱 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》 感染症発生動向調査事業に係る検査実施状況

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
検体数	37	98	347
項目数計	37	127	394
細菌性赤痢 ^{※2}	-	1	-
腸管出血性大腸菌感染症 ^{※2}	7	14	8
E 型肝炎 ^{※1}	-	1	-
デング熱	-	-	2
チクングニア熱	-	-	1
ジカウイルス感染症	-	-	2
つつが虫病 ^{※1}	-	2	-
日本紅斑熱 ^{※1}	-	-	1
レジオネラ症 ^{※2}	-	2	-
レプトスピラ症 ^{※1}	-	-	2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	7	2	2
急性脳炎 ^{※3}	9	18	10
急性弛緩性麻痺 ^{※3}	-	-	10
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 ^{※2}	-	3	3
麻しん	-	24	26
風しん	-	25	26
伝染性紅斑	-	3	17
突発性発しん	-	2	-
インフルエンザ	14	30	31
新型コロナウイルス感染症			253

※1 国立感染症研究所に検査を依頼

※2 医療機関から送付された菌株を性状確認後、国へ送付

※3 一部の検体を栃木県に依頼し、検査を実施

ウ HIV・性感染症検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

感染症の早期発見・早期治療及び二次感染の防止を推進し、そのまん延を防止することを目的に検査を実施する。

（保健所編 エイズ・性感染症・ウイルス性肝炎の検査・相談 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 性感染症に関する特定感染症予防指針 宇都宮市H I V・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 宇都宮市保健センターH I V・性感染症・ウイルス性肝炎検査及び相談実施マニュアル 等	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》性感染症検査実施状況

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
受診者数		608	825	737	
HIV 検査		591	810	725	
梅毒検査		586	787	722	
項目数	HIV 検査	1 次*	591	1,620*	1,450
		2 次	2		
		確認	1	4	5
	梅毒検査	1 次	1,172	1,574	1,444
		2 次	-	-	-
	計		1,766	3,198	2,899

※ 平成 30 年度より HIV 検査の 1 次検査は、抗体検査に加え抗原検査を実施

エ 結核菌感染診断検査（クオンティフェロン（QFT）検査）（平成 18 年度開始）

【事業の目的・内容】

結核については、かつてに比べ患者数は減少しているものの、地域的偏在や集団発生の散発等がみられ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されている。

QFT 検査は既往の BCG 接種の影響を受けないことから、感染者の接触者等二次患者の結核感染の有無の参考となる。効果的な予防・まん延防止のため、QFT 検査を実施する。

（保健所編 結核発生動向調査事業 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 結核に関する特定感染症予防指針	保健予防課 感染症予防グループ

《実績》QFT (IGRA) 検査実施状況

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
受診者数		215	440	449
判 定	陽性	20	35	18
	判定保留	7	31	-
	陰性	188	374	431

オ 利用水検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

「レジオネラ症防止指針」に基づき、利用水のレジオネラ属菌の検査を実施する。また、衛生管理を評価・指導するため、「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づき浴槽水の大腸菌群、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づき採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づき、冷却塔水の大腸菌の検査を実施する。

（保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法，旅館業法， 建築物における衛生的環境の確保に関する法律， 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》

① 利用水検査状況

検体	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	113	299	122	340	115	328
採暖槽水	6	24	8	32	8	32
冷却塔水	20	60	20	60	19	57
計	139	383	150	432	142	417

② 利用水検査項目等

	浴槽水	採暖槽水	冷却塔水	計
レジオネラ属菌	115	8	19	142
大腸菌群数	98	-	-	98
大腸菌	-	8	19	27
アメーバ	115	8	19	142
一般細菌数	-	8	-	8
計	328	32	57	417

カ 国民健康栄養調査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

国民健康栄養調査に係る血液化学検査及び血糖検査に協力する。

（保健所編 国民健康・栄養調査の実施 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
健康増進法 等	健康増進課 健康づくりグループ

《実績》国民健康栄養調査実施状況（件）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
検体数	20	-	14

(2) 食品等検査（平成 8 年度開始 令和 2 年度予算：15,851 千円 市単独）

ア 食品収去等検査（平成 8 年度開始）

【事業の目的・内容】

「食品衛生法」に基づき、保健所が食品衛生監視指導計画により実施する収去検査と買上げ検査、食中毒調査関連の検査を実施している。また、市内食品業者や中央卸売市場の包丁やまな板等のふきとり検査を実施する。

（保健所編 食品収去の実施 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
食品衛生法、乳及び乳製品の成分規格等に関する省令、宇都宮市農畜水産食品残留有害物質検査実施要領 等	生活衛生課食品衛生グループ 食肉衛生検査所、中央卸売市場

《実績》食品等検査実施状況まとめ

依頼課	検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
生活衛生課	食品収去等	1,231	14,631	1,243	14,531	1,248	15,708
	食中毒	364	3,549	294	3,105	110	120
	苦情等	-	-	-	-	1	1
食肉衛生検査所	食肉の残留農薬	6	18	6	18	6	18
学校健康課	苦情等	-	-	-	-	1	4
保健所総務課	家庭用品	23	26	23	26	23	26

※ 令和元年度食品収去等内訳：買上げ(20 検体, 81 項目), ふき取り(51 検体, 102 項目)を含む。

《項目別実績》

① 微生物検査の実施状況

生鮮食品や加工品等について、成分規格、衛生規範、その他衛生状態の確認等に係る細菌等の検査を行う。

	冷凍食品	そうざい・弁当	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	氷菓	いけすの水	ふきとり	計
検体数	40	131	81	20	40	7	23	56	15	6	37	51	507
項目数計	80	309	108	60	105	7	69	167	15	12	37	102	1,071
細菌数	40	131	9	-	15	7	23	56	-	6	-	-	287
大腸菌群	18	-	27	-	-	-	8	56	15	6	-	51	181
大腸菌 (E.coli)	22	89	-	20	25	-	15	-	-	-	-	-	171
大腸菌最確数	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
腸管出血性大腸菌	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-	-	40
腸球菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緑膿菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黄色ブドウ球菌	-	89	-	20	-	-	23	55	-	-	-	-	187
サルモネラ属菌	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20
腸炎ビブリオ	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	37	51	113
腸炎ビブリオ最確数	-	-	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54
クロストリジウム属菌	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ノロウイルス	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9

[結果] 衛生規範不適合：洋生菓子(大腸菌群検出 2 件), 生食用野菜(細菌数超過 3 件)
 成分規格違反：冷凍食品(細菌数超過 2 件), 氷菓(細菌数超過 1 件)
 その他：ふきとり(大腸菌群検出 27 件)

② 食品添加物検査実施状況

加工食品に使用される保存料や甘味料，着色料等の食品添加物の使用基準の検査を行う。

		そうざい	魚介類及び加工品	肉類及び加工品	果実及び加工品	野菜及び加工品	豆類及び加工品	穀類及び加工品	麺類	菓子類	清涼飲料水	調味料	計
検体数		14	83	20	32	56	22	8	15	36	15	20	321
項目数計		114	642	40	95	674	92	60	15	72	150	40	1,994
保存料	ソルビン酸	14	65	20	23	56	17	8	-	-	-	10	213
	安息香酸	14	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	29
	パラオキシ安息香酸エステル類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	10	25
甘味料	サッカリンナトリウム	14	27	-	-	45	5	-	-	-	-	20	111
	サイクラミン酸	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	36
発色剤	亜硝酸根	-	22	20	-	-	-	-	-	-	-	-	42
漂白剤	二酸化硫黄	-	-	-	16	9	10	4	-	-	-	-	39
品質保持剤	プロピレングリコール	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	15
酸化防止剤	T B H Q	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	36
合成着色料	酸性タール系色素 12種類	72	528	-	24	564	60	48	-	-	120	-	1,416
防かび剤	アゾキシストロビン	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	イマザリル	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	オルトフェニルフェノール	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	ジフェニル	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	チアベンダゾール	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	ピリメタニル	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	フルジオキシニル	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4
	プロピコナゾール	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4

〔結果〕 使用基準：全て適合

③ 乳及び乳製品検査実施状況

乳及び乳製品の成分規格等に関する省令に基づき，成分規格の検査を行う。

	牛乳	加工乳	乳飲料	発酵乳 乳酸菌飲料	アイスクリーム類	計
検体数	10	1	16	20	13	60
項目数計	60	4	32	40	26	162
細菌数	10	1	16	-	13	40
大腸菌群	10	1	16	20	13	60
酵母及び乳酸菌数	-	-	-	20	-	20
比重	10	-	-	-	-	10
酸度	10	1	-	-	-	11
乳脂肪分	10	-	-	-	-	10
乳固形分	-	-	-	-	-	-
無脂乳固形分	10	1	-	-	-	11

〔結果〕 成分規格：全て適合

④ 残留農薬検査の実施状況

食品中に残留する農薬などが、基準を超えて人の健康に害を及ぼすことのないよう、規格基準の検査を行う。

残留農薬の検査可能項目一覧[328項目]

1	2-(1-ナフチル) アセタミド	※★	83	クロロエトキシホス	※★	165	デルタメトリン及びトラロメトリン	※★	247	フルシトリネート	※★
2	BBC	※★	84	クロルタールジメチル	※★	166	テルブトリン	※★	248	フルシラゾール	※★
3	DDT	※★	85	クロルピリホス	※★	167	テルブホス	※★	249	フルチアセトメチル	※★
4	E.P.N	※★	86	クロルピリホスメチル	※★	168	トラルコキシジム	※	250	フルトワニル	※★
5	MCPB	※	87	クロルフェナピル	※★	169	トリアジメノール	※★	251	フルトリアホール	※★
6	TCMB	※★	88	4-クロルフェノキシ酢酸 (4-CPA)	※	170	トリアジメホス	※★	252	フルバリネート	※★
7	AMC	※★	89	クロルフェンソル	※★	171	トリアゾホス	※★	253	フルフェノクスロン	※★
8	γ-BHC (リンデン)	※★	90	クロルフェンピホス	※★	172	トリアレート	※★	254	フルフェニルエチル	※★
9	アイオキシニル	※	91	クロルブファミ	※★	173	トリクロピル	※	255	フルミオキサジン	※★
10	アクリナトリン	※★	92	クロルフルアズロン	※★	174	トリシタラゾール	※★	256	フルミクロラックベンチル	※★
11	アゾキサゾール	※★	93	クロルブプロファミ	※★	175	トリチコナゾール	※	257	フルメツラム	※
12	アザメチホス	※★	94	クロルベンシド	※★	176	トリチモルフ	※	258	フルリドン	※★
13	アシナルコルフェン	※	95	クロロクスロン	※★	177	トリブホス	※★	259	フルロキシピル	※
14	アジンホスメチル	※★	96	クロロネブ	※★	178	トリフルムロン	※	260	プレチラクロール	※★
15	アセタミプリド	※★	97	クロロベンジレート	※★	179	トリフルラリン	※★	261	プロシメドン	※★
16	アセフェート	※	98	シアナジン	※★	180	トリフロキシストロピン	※★	262	プロチオホス	※★
17	アゾキシストロピン	※★	99	シアホス	※★	181	トルクロホスメチル	※★	263	プロバキサホップ	※
18	アトラジン	※★	100	ジウロン	※★	182	トルフェンピラド	※★	264	プロバジン	※★
19	アニコホス	※★	101	ジエトフェンカルブ	※★	183	1-ナフタレン酢酸	※	265	プロバニル	※★
20	アマトリン	※★	102	ジオキサチオン	※★	184	ナブロアニリド	※★	266	プロバホス	※★
21	アトラコール	※★	103	ジクロエート	※	185	ナブロバミド	※★	267	プロバルギッド	※★
22	アラマイト	※★	104	ジクロシメット	※★	186	ニトタールイソプロピル	※★	268	プロピコナゾール	※★
23	アルドリ及びビデルドリン	※★	105	ジクロラム	※	187	ノルロン	※	269	プロピザミド	※
24	アレスリン	※★	106	ジクロホス	※★	188	バクログラゾール	※★	270	プロビドロキシモン	※★
25	イソホス	※★	107	ジクロフェンチオン	※★	189	バラチオン	※★	271	プロフェノホス	※★
26	イソキサチオン	※★	108	ジクロフルアニド	※★	190	バラチオンメチル	※★	272	プロボキスル	※★
27	イソキサチオンオキソジン	※★	109	ジクロホップメチル	※★	191	ハルフェンブロックス	※★	273	プロマシル	※★
28	イソフェンホス	※★	110	ジクロラン	※★	192	ハロキシホップ	※	274	プロメトリン	※★
29	イソプロカルブ	※★	111	ジクロカルブ	※	193	ビロリナフェン	※★	275	プロモキシニル	※
30	イソプロチオラン	※★	112	ジコホール	※★	194	ビテルタノール	※★	276	プロモプロビレート	※★
31	イプロバカリカルブ	※★	113	ジスルホトン	※★	195	ビフェニックス	※★	277	プロモホス	※★
32	イプロベンホス	※★	114	シデュロン	※★	196	ビフェトリン	※★	278	プロモホスエチル	※★
33	イマザキン	※	115	シユンエチル	※★	197	ビペロニルブトキシド	※★	279	ヘキサコナゾール	※★
34	イマメタベンズメチルエステル	※★	116	シハロトリン	※★	198	ビバロホス	※★	280	ヘキサジノン	※★
35	イマザリル	※★	117	シハロホップメチル	※★	199	ビラクロストロピン	※	281	ヘキサフルムロン	※★
36	イミダクロプリド	※★	118	ジフェナミド	※★	200	ビラクロホス	※★	282	ヘキシチアゾクス	※
37	イベンコナゾール	※★	119	ジフェノコナゾール	※★	201	ビラゾホス	※★	283	ベナラキシル	※★
38	インダノファン	※★	120	シフルトリン	※★	202	ビラゾリネート	※★	284	ベノキサコール	※★
39	インドキサカルブ	※★	121	シフルフェナミド	※★	203	ビラフルフェンエチル	※★	285	ヘブタクロール	※
40	エスプロカルブ	※★	122	ジフルフェンカン	※★	204	ビラダエンチオン	※★	286	ベルタン (エチラン)	※★
41	エタルフルラリン	※★	123	ジフルベンズロン	※★	205	ビラダベン	※★	287	ベルメトリン	※★
42	エチオフェンカルブ	※★	124	シプロコナゾール	※★	206	ビロニックス	※★	288	ベンコナゾール	※★
43	エチオン	※★	125	シプロジニル	※	207	ビラダリド	※★	289	ベンシクロン	※
44	エトイフェンホス	※★	126	シペルメトリン	※★	208	ビラチカルブ	※★	290	ベンシリド	※★
45	エトキサゾール	※★	127	シマジン	※★	209	ビラプロキシフェン	※★	291	ベンゾフェナチン	※★
46	エトフェンブロックス	※★	128	シメコナゾール	※★	210	ビリミカブ	※★	292	ベンダイオカルブ	※★
47	エトプロホス	※★	129	ジメタメトリン	※★	211	ビリミノバクメチル	※★	293	ベンディメタリン	※★
48	エトリムホス	※★	130	ジメチピル	※★	212	ビリミホスメチル	※★	294	ベンフルラリン	※★
49	エボキシコナゾール	※★	131	ジメチリモール	※★	213	ビリメタニル	※★	295	ベンフルセート	※★
50	エンドスルファン	※★	132	ジメタナミド	※★	214	ビロキロン	※★	296	ホサロン	※★
51	エンドスルファンシルフェート	※★	133	ジメトエート	※★	215	ピンクロゾリン	※★	297	ボスカリド	※
52	エンドリン	※★	134	ジメトモルフ	※	216	フィプロニル	※★	298	ホスチアゼート	※★
53	オキサジアゾン	※★	135	シメトリン	※★	217	フェナミホス	※★	299	ホスファミドン	※★
54	オキサジキシル	※★	136	ジメバレート	※★	218	フェナリモル	※★	300	ホスメット	※★
55	オキサジクロメホス	※★	137	シラフルオフェン	※★	219	フェニトロチオン	※★	301	ホメサフェン	※
56	オキサミル	※★	138	スピノサド	※	220	フェノキサニル	※★	302	ホルクロルフェニエロン	※
57	オキシカルボキシニル	※★	139	スピロキサミン	※★	221	フェノキシカルブ	※★	303	ホルモチオン	※★
58	オキシフルオルフェン	※★	140	スピロジクロフェン	※★	222	フェノチオカルブ	※★	304	ホレート	※★
59	オリザリル	※★	141	ゾキサミド	※★	223	フェノトリン	※★	305	ワラチオン	※★
60	カズサホス	※★	142	ターバシ	※★	224	フェノプロカルブ	※★	306	ミクロブタニル	※★
61	カフェンストロール	※★	143	ダイアジン	※★	225	フェリムゾン	※★	307	メカルバム	※★
62	カルバリル	※★	144	ダイアレート	※★	226	フェンアミドン	※★	308	メコブロップ	※
63	カルフェントラゾニエチル	※★	145	ダイムロン	※★	227	フェンクロホス	※★	309	メタベンズシアズロン	※
64	カルプロバミド	※★	146	チアクロプリド	※★	228	フェンズルホチオン	※★	310	メタミドホス	★
65	カルボフラン	※★	147	チアベンダゾール	※	229	フェントエート	※★	311	メタキシル及びメフェノキサム	※★
66	キナルホス	※★	148	チアトキサム	※★	230	フェンバレート	※★	312	メチダチオン	※★
67	キノキシフェン	※★	149	チオベンカルブ	※★	231	フェンピロキシメート	※	313	メトキシクロル	※★
68	キノクラミン	※★	150	チオメトン	※★	232	フェンプロナゾール	※★	314	メトキシフェノジド	※
69	キャブタン	※★	151	チジアズロン	※★	233	フェンプロバトリン	※★	315	メトブレン	※★
70	キントゼン	※★	152	チルギミド	※★	234	フェンプロピモルフ	※★	316	メトミノストロピン	※★
71	キミルロン	※★	153	チクナゼン	※★	235	フェンメジアファミ	※★	317	メトラクロール	※★
72	クレソキシメチル	※★	154	デトラクロルピホス	※★	236	フサライド	※★	318	メビンホス	※★
73	クロキントセトメキシル	※★	155	デトラコナゾール	※★	237	ブタクロール	※★	319	メフェナセット	※★
74	クロゾリネート	※★	156	デトラジホス	※★	238	フエナシル	※★	320	メフェンビルジェチル	※★
75	クロチアフェン	※★	157	テルクロール	※★	239	ブタミホス	※★	321	メブニル	※★
76	クロフェンデジン	※	158	デブコナゾール	※★	240	ブピリメート	※★	322	モノクロトホス	※★
77	クロブロップ	※	159	デブチワロン	※★	241	ブプロフェン	※★	323	モノリニエロン	※★
78	クロマゾン	※★	160	デブフェノジド	※★	242	ブラムプロップメチル	※★	324	ラクトフェン	※★
79	クロマフェノジド	※★	161	デブフェンピラド	※★	243	ブラムトピル	※	325	リニエロン	※
80	クロメブロップ	※★	162	デフルトリン	※★	244	フルアクリリウム	※★	326	ルフェスロン	※★
81	クロラスタムメチル	※★	163	デフルベンズロン	※★	245	フルキシコナゾール	※★	327	レスメトリン	※★
82	クリダゾン	※★	164	デメト-S-メチル	※★	246	フルジキソニル	※★	328	レナシル	※★

● 肉中の残留農薬として検査実施 ※ 農産物でのみ検査実施 ★ 輸入冷凍食品でのみ検査実施

残留農薬検査の実施状況

検体名	検体数	項目数
かんきつ類	4	1,224
輸入野菜	3	927
アスパラガス	6	1,824
トマト	6	1,890
日本なし	6	1,878
にら	6	1,872
いちご	6	1,884
国産牛肉, 豚肉	6	18
輸入牛肉, 豚肉, 鶏肉	6	18
計	49	11,535

〔結果〕残留基準：超過無し

※残留農薬とは、農薬を使用した結果、食品や農産物あるいは動物飼料から検出されるあらゆる物質で、変換産物、代謝産物、反応産物、不純物など、農薬から生じた毒性的に重要と思われるあらゆる派生物が含まれる。

⑤ 動物用医薬品検査の実施状況

動物用医薬品が食品中に基準値を超えて残留していないか使用基準の検査を行う。

				あゆ	鶏卵	輸入牛豚鶏肉	はちみつ	生乳	計
検体数				5	4	6	4	359	378
項目数計				140	100	164	28	359	791
合成抗菌剤等 28項目	エトパベート	スルファジメトキシ	スルフィソキサゾール	120	84	140			344
	エンロフロキサシン	スルファチアゾール	ダノフロキサシン						
	オキシリニック酸	スルファドキシ	チアベンダゾール						
	オフロキサシン	スルファニトラン	チアンフェニコール						
	オルメトプリム	スルファピリジン	トリメトプリム						
	酢酸メレンゲステロール	スルファメトキサゾール	ピリメタミン						
	スルファキノキサリン	スルファメトキシピリダジ	フルベンダゾール						
	スルファクロピリダジ	スルファメラジ	5-プロピルスルホニル-III-ベンズイミダゾール-2-アミン						
	スルファジアジ	スルファモノメトキシ	レバミゾール						
	スルファジミジ								
抗生物質 (スクリーニング) 5項目	マクロライド系	アミノグリコシド系		20	16	24	28		88
	ペニシリン系	テトラサイクリン系							
	ベンジルペニシリン								

〔結果〕残留基準：超過無し

※動物用医薬品とは、治療・予防・診断目的で、あるいは生理的機能や挙動を改変する目的で、食肉用家畜や乳用家畜、家禽類、魚類、蜂など食品生産に用いられるあらゆる動物に適用もしくは投与されるあらゆる物質。

⑥ 食品に残留する有害物質検査の実施状況

	清涼飲料水	魚介類	生あん	計
検体数	2	20	5	27
項目数	2	81	5	88
総水銀(メチル水銀含む)	-	21	-	21
有機スズ (TBTO, DBT, TPT)	-	60	-	60
カビ毒(パツリン)	2	-	-	2
シアン	-	-	5	5

[結果] 暫定基準: 甘鯛(総水銀及びメチル水銀の基準超過1件), その他全て基準超過等無し

⑦ 遺伝子組換え食品検査の実施状況

安全が確認されていない遺伝子組換え食品の発見と, 適正表示確認のための検査を実施している。なお, 我が国での安全性審査により安全性が確認された遺伝子組換え食品についても組換えDNA(遺伝子)の含有量の確認を行う。

		コーンフラワー
検体数		2
項目数		4
定性	CBH351, Bt10	4
定量	Bt11, Event176, T25, Mon810, GA21	-

[結果] 定性試験: 全て陰性, 定量検査: 混入率が5%を超えるもの無し

⑧ アレルギー物質(特定原材料)を含む食品検査の実施状況

食品製造過程におけるアレルギー物質の混入を防ぐため, 表示義務のある7品目の特定原材料(小麦, そば, 卵, 乳, 落花生, えび, かに)のうち, 市内の製造工場で作製されている食品について検査を実施する。

	麺類	菓子類	そうざいの素	缶詰食品	清涼飲料水	計
検体数	20	7	5	2	7	41
項目数	20	7	5	2	7	41
そば	20	-	-	-	-	20
乳	-	7	5	2	7	21

[結果] 表示義務のある特定原材料の基準量10µg/gを超える特定原材料の混入無し

⑨ 容器包装検査の実施状況

食品用器具・容器包装は食品と直接接触して使用されることから, 化学物質等の溶出により食品が汚染されないよう配慮する必要があることから, 規格基準検査を実施する。

		容器包装
検体数		8
項目数		40
材質試験	カドミウム, 鉛	16
溶出試験	蒸発残留物, 過マンガン酸カリウム消費量, 重金属	24

[結果] 全て基準に適合

⑩ 食中毒（疑）関連検査の実施状況

食中毒及びその疑いがある事例について、便や食品等の検査を行う。

	食中毒			計
	食品	ふきとり	便	
検体数	27	36	47	110
項目数計	27	36	57	120
赤痢菌	-	-	1	1
サルモネラ属菌	-	-	1	1
ビブリオ属菌	-	-	1	1
黄色ブドウ球菌	-	-	1	1
下痢原性大腸菌	-	-	1	1
カンピロバクター属菌	-	8	5	13
ウェルシュ菌	-	-	1	1
セレウス菌	-	-	1	1
エルシニア属菌	-	-	1	1
腸管出血性大腸菌	27	28	42	97
ノロウイルス	-	-	2	2
ロタウイルス	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

⑪ 臨時検査の実施状況

食品の苦情等の突発事例について、検査を行う。

依頼月	依頼課	内容	検査項目	検体数	項目数
8月	学校健康課	給食のご飯に混入した異物	外観，導電性， 磁性，IR検査	1	4
9月	生活衛生課	トマト缶中の異物	真菌	1	1
計				2	5

イ 家庭用品検査（平成10年度開始）

【事業の目的・内容】

家庭用品には、いろいろな種類の化学物質が様々な目的で使用されており、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、家庭用品に含まれる化学物質による健康被害を未然に防止するため検査を実施する。

（保健所編 家庭用品試買検査 参照）

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律	保健所総務課 薬事グループ

《実績》家庭用品等の検査実施状況

	繊維製品 (24ヶ月未満)	家庭用エアゾル製品	計
検体数	20	3	23
項目数計	20	6	26
ホルムアルデヒド	20	-	20
トリクロロエチレン	-	3	3
テトラクロロエチレン	-	3	3

〔結果〕全て基準に適合

(3) 環境検査 (平成8年度開始 令和2年度予算: 8,645千円 市単独)

市民が健康で安心、快適に暮らせるよう環境保全業務として、環境保全課の依頼により、河川等の公共水域や地下水、工場排水、ゴルフ場排水等の水質検査、工場・事業場等のばい煙や排出ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度及び騒音・振動等の測定を実施している。

また、廃棄物対策課の依頼により、最終処分場周辺地下水等の水質調査や埋立地浸出水の水質検査、廃棄物の溶出試験等を実施している。

さらに、生活衛生業務として生活衛生課の依頼により、公衆浴場や採暖槽水及び冷却塔水等の水質検査を実施している。

ア 環境保全課関係

(ア) 水質検査

【事業の目的・内容】

① 公共用水域

河川事故等による水質異常等の発生時に「水質汚濁防止法」に基づき、河川等公共用水の検査を実施する。

② 地下水

テトラクロロエチレン等の揮発性有機化合物や六価クロム等の重金属類等による地下水汚染状況を調査するため、「地下水の水質汚染に係る環境基準」に基づき、地下水の水質検査を実施する。

③ 工場排水

「水質汚濁防止法」の排水基準監視のため、特定事業所等排水の水質検査を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
水質汚濁防止法, 地下水の水質汚染に係る環境基準 等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》環境保全課関係水質検査実施状況

検査分類	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
公共用水	14	55	32	54	13	25
地下水	26	76	25	56	48	127
工場排水	84	483	107	540	86	556
計	124	614	164	650	147	708

◇環境保全課関係水質検査項目一覧[48項目]

生活環境項目	1	pH	6	フェノール類	11	クロム
	2	BOD	7	銅	12	大腸菌群数
	3	COD	8	亜鉛	13	窒素含有量
	4	SS	9	溶解性鉄	14	りん含有量
	5	n-ヘキサン抽出物質	10	溶解性マンガン		
健康項目	15	カドミウム	25	四塩化炭素	35	シマジン
	16	シアン	26	1,2-ジクロロエタン	36	チオベンカルブ
	17	有機りん化合物	27	1,1-ジクロロエチレン	37	ベンゼン
	18	鉛	28	シス-1,2-ジクロロエチレン	38	セレン
	19	六価クロム	29	1,1,1-トリクロロエタン	39	ほう素
	20	ヒ素	30	1,1,2-トリクロロエタン	40	ふっ素
	21	総水銀	31	トリクロロエチレン	41	アンモニウム化合物等合計量
	22	アルキル水銀	32	テトラクロロエチレン	42	1,4-ジオキサソ
	23	ポリ塩化ビフェニル	33	1,3-ジクロロプロペン		
24	ジクロロメタン	34	チウラム			
その他	43	DO	46	TOC		
	44	電気伝導率	47	硬度		
	45	過マンガン酸カリウム消費量	48	塩化ビニルモノマー		

(イ) ゴルフ場農薬検査

【事業の目的・内容】

「ゴルフ場の農薬使用に係る水質調査実施要領」に基づき、9か所のゴルフ場について排水等の水質検査を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
ゴルフ場で使用される農薬による水質汚濁の防止に係る暫定指導指針等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》ゴルフ場農薬検査実施状況

検査分類	平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ゴルフ場農薬	13	291	13	330	13	331

◇ゴルフ場農薬検査項目一覧[30項目]

殺虫剤	1	EPN	6	クロラントラリニプロール	11	ニテンピラム
	2	アセタミプリド	7	ジノテフラン	12	フェニトロチオン(MEP)
	3	イソキサチオン	8	ダイアジノン	13	フェノブカルブ
	4	イミダクロプリド	9	チアクロプリド	14	フルベンジアミド
	5	クロチアニジン	10	チアメトキサム		
殺菌剤	15	アゾキシストロビン	18	オキシ銅(有機銅)	21	ペンシクロン
	16	イソプロチオラン	19	クロロタロニル(TPN)	22	プロピコナゾール
	17	イプロベンホス(IBP)	20	チウラム(チラム)	23	メタラキシル及びメタラキシルM
除草剤	24	アシュラム	27	トリアジフラム	30	MCPPカリウム塩、MCPPジメチルアミン塩、メコプロップPイソプロピルアミン塩及びメコプロップPカリウム塩
	25	シマジン(CAT)	28	トリクロピル		
	26	チオベンカルブ	29	プロピザミド		

(ウ) 大気検査

【事業の目的・内容】

① ばい煙測定

「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等のばい煙測定を実施する。

② VOC 濃度測定

「大気汚染防止法」に基づき、特定施設等の排出ガス中の VOC 濃度の測定を実施する。

③ 悪臭検査

「悪臭防止法」に基づき、特定施設及び施設周辺の臭気指数等の測定を実施する。

根拠法令等	依頼課・グループ
大気汚染防止法，悪臭防止法等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》大気等検査実施状況

検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
ばい煙※	5	49	5	53	5	51
VOC 濃度	2	2	2	2	2	2
臭気測定	3	3	4	4	-	-
計	10	54	11	59	7	53

※ばい煙検査項目一覧

ばい煙項目	硫黄酸化物	ばいじん量	酸素濃度
	窒素酸化物	排ガス流速	静圧
	湿り排ガス量	排ガス温度	鉛及びその化合物
	濁り排ガス量	塩化水素	全水銀

(エ) 騒音・振動検査

【事業の目的・内容】

市民からの相談による現場調査時に「騒音規制法」，「振動規制法」，「低周波音問題対応の手引書」に基づき、騒音・振動等の測定を行う。

根拠法令等	依頼課・グループ
騒音規制法，振動規制法等	環境部環境保全課 調査指導グループ

《実績》騒音・振動等検査実施状況

検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
騒音	1	1	2	2	-	-
振動	-	-	-	-	-	-
低周波	-	-	-	-	-	-
計	1	1	2	2	-	-

イ 廃棄物対策課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 最終処分場周辺地下水及び埋立地浸出水等の水質検査

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、最終処分場周辺地下水等と埋立地浸出水の水質検査を実施する。

(イ) 土砂等検査

「栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」に基づき、土砂等の検査を実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 栃木県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例 等	環境部廃棄物対策課 指導グループ

《実績》廃棄物対策課関係検査等実施状況

検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
水質	166	1,704	164	1,700	164	1,711
土砂等	-	-	-	-	-	-
計	166	1,704	164	1,700	164	1,711

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[浸出水：10項目]

水素イオン濃度	ヒ素	ほう素
鉛	カドミウム	1,4-ジオキサン
六価クロム	ふっ素	BOD
総水銀		

◇廃棄物対策課関係検査項目一覧[地下水：46項目]

有害物質関係項目	1	カドミウム	11	テトラクロロエチレン	21	シマジン
	2	シアン	12	ジクロロメタン	22	チオベンカルブ
	3	有機りん	13	四塩化炭素	23	ベンゼン
	4	鉛	14	1,2-ジクロロエタン	24	セレン
	5	六価クロム	15	1,1-ジクロロエチレン	25	ほう素
	6	ヒ素	16	シス-1,2-ジクロロエチレン	26	ふっ素
	7	総水銀	17	1,1,1-トリクロロエタン	27	1,4-ジオキサン
	8	アルキル水銀	18	1,1,2-トリクロロエタン	28	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物
	9	ポリ塩化ビフェニル	19	1,3-ジクロロプロペン		
	10	トリクロロエチレン	20	チウラム		
生活環境項目	29	pH	34	n-ヘキサン抽出物質(動植物性油脂類)	39	溶解性マンガン
	30	BOD	35	フェノール類	40	クロム
	31	COD	36	銅	41	大腸菌群数
	32	SS	37	亜鉛	42	窒素含有量
	33	n-ヘキサン抽出物質(鉱油類)	38	溶解性鉄	43	りん含有量
その他	44	塩化ビニルモノマー	46	TOC		
	45	1,2-ジクロロエチレン				

ウ 生活衛生課関係

【事業の目的・内容】

「公衆浴場法」、「旅館業法」に基づく浴槽水、「遊泳用プール衛生指導要綱」に基づく採暖槽水、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく冷却塔水の水質検査を実施する。

(保健所編 生活衛生施設等の監視・指導の充実 参照)

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
公衆浴場法, 旅館業法, 建築物における衛生的環境の確保に関する法律, 宇都宮市遊泳用プール衛生指導要綱 等	生活衛生課 食品・環境衛生グループ

《実績》生活衛生課関係水質検査状況

検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
浴槽水	90	180	96	192	98	196
採暖槽水	6	18	8	24	8	24
冷却塔水	20	20	20	20	19	19
計	116	218	124	236	125	239

◇生活衛生課関係水質検査項目一覧[3 項目]

pH	濁度	過マンガン酸カリウム消費量
----	----	---------------

エ 保健所総務課関係

【事業の目的・内容】

(ア) 保健所下水検査

「下水道法」及び「工場・事業場排水等自主管理要領」に基づき、保健所下水の水質検査を月 1 回実施する。

(イ) 保健所給水栓検査

「水道法」に基づき、保健所の給水栓の水質検査を週 1 回実施する。

根 拠 法 令 等	依頼課・グループ
下水道法, 水道法 等	保健福祉部保健所総務課 企画グループ

《実績》保健所総務課関係水質検査実施状況

検査分類	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
保健所下水	12	132	12	132	12	132
給水栓	52	260	52	260	50	250
計	64	392	64	392	62	382

◇保健所下水水質検査項目一覧[11項目]

pH	銅	総水銀	アンモニア性窒素
六価クロム	亜鉛	ほう素	硝酸性窒素及び
鉛	シアン	ふっ素	亜硝酸性窒素

◇保健所給水栓水質検査実施項目一覧[5項目]

色	濁り	臭気	味	残留塩素
---	----	----	---	------

オ その他

関係課からの依頼により，臨時検査等を実施した。（検体数，項目数は，前出を再掲）

	依頼月	依頼課	検査分類	検体数	項目数
1	5月	環境保全課	地下水	1	2
2	5月	環境保全課	地下水	1	27
3	5月	環境保全課	地下水	14	28
4	5月	環境保全課	地下水	1	2
5	7月	環境保全課	地下水	6	12
6	8月	環境保全課	一般大気	3	3
7	9月	環境保全課	工場排水	1	6
8	11月	環境保全課	河川水	1	1
9	1月	環境保全課	工場排水	1	16
10	1月	環境保全課	工場排水	1	1
11	2月	環境保全課	工場排水	8	16
計				38	114

(4) 精度管理

試験データの信頼性を確保するためには，試験所の組織的な管理体制の確立(GLP)や，技能試験(外部精度管理)への参加，内部精度管理の実施，分析法の妥当性確認等が必要である。

そこで，技能確認のため外部機関が実施する外部精度管理調査に定期的に参加するとともに，検査業務や機器の点検整備の記録等についての内部点検，検査技術の研鑽等を目的とした内部精度管理を実施している。

ア 外部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

病原体等検査の質を確保するため，平成28年4月から施行された改正感染症法に基づく「検査施設における病原体等検査の業務管理要領」等により，病原体等検査部門責任者(微生物グループ係長)を設置して業務管理を行っている。また，国立感染症研究所などが実施する精度管理調査等に参加し，検査を実施する。

根拠法令等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則，検査施設における病原体等検査の業務管理要領，平成31年度外部精度管理事業実施要綱等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》感染症検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
厚生労働省健康局結核感染症課 感染症情報管理室	EQA パネル検体	β-ラクタマーゼ産生性確認, カルバペネマーゼ遺伝子検出	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	6月
	EQA パネル検体	毒素または毒素遺伝子検出及びO群同定	腸管出血性大腸菌	11月
国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター	ウイルス分離 試験用サンプル	ウイルス分離 培養・同定	インフルエンザ ウイルス	8月
衛生微生物技術協議会 人獣共通感染症レファレンスセンター	EQA パネル検体	SFTSV 遺伝子検出	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	10月
厚生労働科学研究 レジオネラ属菌検査精度管理サーベイ事務局	レジオネラ属菌 検査精度管理 サーベイ試料	レジオネラ属菌 定量	レジオネラ属菌	11月
厚生労働科学研究 公益財団法人 結核予防会結核研究所抗酸菌部	結核菌 DNA	結核菌遺伝子型別	結核菌 VNTR 解析	12月

(イ) 食品検査部門

「宇都宮市食品衛生検査業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、検査部門責任者（衛生環境試験所長）を設置して試験検査に係る業務管理に取り組んでいる。

食品については、信頼性確保部門責任者の依頼により、一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所公益事業部の食品衛生外部精度管理調査室で調製した検体について、検査精度の確認のための検査を実施する。

また、食中毒関連細菌検査については、栃木県試験検査精度管理委員会で実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

(保健所編 食品衛生検査業務管理 参照)

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法, 食品衛生法施行規則, 宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》食品検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
栃木県試験検査 精度管理委員会	菌液模擬試料	細菌検査	菌の分離・同定	9月
一般財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 公益事業部食品衛生 外部精度管理調査室	ハンバーグ	菌同定	E. coli (定性)	6月
	ゼラチン基材	菌数測定	一般細菌数 (定量)	7月
	マッシュポテト	菌同定	黄色ブドウ球菌 (定性)	9月
	ほうれんそう ペースト	残留農薬	クロルピリホス プロチオホス	6月
	シロップ	食品添加物	ソルビン酸	7月
	豚肉(もも) ペースト	残留動物用医薬品	スルファジミジン	10月

(ウ) 環境検査部門

水質試験について、日本環境衛生センター及び栃木県試験検査精度管理委員会を実施する精度管理調査に参加し、技能確認を実施する。

《実績》環境検査外部精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
栃木県試験検査 精度管理委員会	模擬排水試料	水質試験	銅含有量 COD	9月
環境省 一般財団法人日本 環境衛生センター	模擬土壌試料	土壌試験	鉛	9月

イ 内部精度管理

【事業の目的・内容】

(ア) 感染症検査部門

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則，検査施設における病原体等検査の業務管理要領 等	衛生環境試験所 理化学グループ

《実績》感染症検査内部精度管理実施状況

内容	検体	検査項目	実施月	
細菌検査	定量試験	血清	結核 (QFT)	4月
	定性試験	採暖槽水	レジオネラ属菌	5月
		菌株	腸管出血性大腸菌	5月
		菌株	G群溶血性レンサ球菌	7月
		結核菌 DNA	結核菌 VNTR 解析	1月
ウイルス検査	定量試験	コントロール DNA	感染性胃腸炎 (ノロウイルス)	4月
		コントロール RNA	麻しん	4月
		コントロール RNA	風しん	4月
		コントロール RNA	季節性インフルエンザ ウイルス	4月
	定性試験	コントロール DNA	伝染性紅斑	4月

(イ) 食品検査部門

食品検査部門において、「業務管理要領」及び「精度管理の一般ガイドライン」に基づき、食品添加物の添加回収試験等の内部精度管理を実施している。

そのうち、検査実施頻度の多い項目として、理化学的検査では、食品に添加した標準品の回収率を繰り返し求める「繰り返し試験」、微生物学的検査では、食品に添加した菌を検出する「定性試験」及び添加した菌の回収率を求める「定量試験」を実施し、信頼性確保部門責任者に報告する。

(保健所編 食品衛生検査業務管理 参照)

根 拠 法 令 等	信頼性確保部門
食品衛生法，食品衛生法施行規則，宇都宮市食品衛生検査業務管理要領 等	保健所総務課 薬事グループ

《実績》食品検査内部精度管理実施状況

内容		検体	検査項目	実施月
理化学的検査	繰り返し試験	塩漬	保存料（ソルビン酸）	4月
		食肉製品	発色剤（亜硝酸根）	5月
		生めん	品質保持剤 （プロピレングリコール）	7月
微生物学的検査	定性試験	弁当・そうざい	E. coli	3月
		弁当・そうざい	黄色ブドウ球菌	3月
	定量試験	牛乳	一般細菌数	3月

ウ 地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業

【事業の目的・内容】

地域における健康危機管理体制確保のための地方衛生研究所の連携協力の推進並びに検査精度の向上を図る。

《実績》関東甲信静ブロック精度管理実施状況

実施主体	検体	検査項目		実施月
地域保健総合推進事業に基づく関東甲信静ブロック精度管理事業	汁物 グロリオサ塊茎	定量試験	コルヒチン	9月

2 調査研究

調査研究事業の概要

【事業の目的・内容】

平常時から技術レベルの維持向上を図るため、多様化、高度化する試験検査に係る検査の迅速化、精度の向上等やモニタリング調査などの基礎的研究を行う。

また、国や県、他の地方衛生研究所等との共同研究に参加し、技術的・専門的な支援のための応用的研究を行う。

《実績》

年度	調査研究の内容	発表先
H29	宇都宮市で発生した <i>Escherichia albertii</i> による食中毒事例について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会 病原微生物検出情報 Vol. 38 No. 8 (2017. 8)
	大規模調理施設におけるノロウイルス食中毒事例について	栃木県生活衛生関係業績発表会
	ヒスタミン分析法の検討	
	LC-MS/MS による農産物中残留農薬等一斉分析試験法の妥当性評価	
H30	夏休み親子教室等の取り組みについて	栃木県生活衛生関係業績発表会
	情報発信事業『食品Q&A』に関する報告～ホームページへの掲載と閲覧状況の結果報告～	
	ネオニコチノイド系農薬ジノテフランおよびニテンピラム等一斉試験法の検討	
R1	インフルエンザウイルス分離培養検査の確立に係る基礎的検討	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会
	農産物中ネオニコチノイド系農薬一斉試験法の開発研究	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学研究部会
	LC/MS/MS による植物性自然毒コルヒチン分析の検討	栃木県生活衛生関係業績発表会

3 研修指導

研修指導事業

【事業の目的・内容】

検査の信頼性向上のため、依頼課が行う検体の採取から搬送、受け渡し、検体の取扱い等に関するマニュアルを作成し、依頼課職員等への技術支援を行う。

医療機関や食品工場の検査室等民間事業者等への知識・技術の伝達，地域保健衛生分野の学生等の実習受け入れ等を行い，地域保健の推進に関する活動や学習の支援を積極的に行う。

《実績》

① 依頼課への技術支援（平成 27 年度～）

件名	内容	対象者	場所	実施日
感染症検査に係る検体の取扱い研修	感染症発生動向調査の検査用検体採取マニュアルに沿って説明	保健予防課 2名 生活衛生課 2名 衛生環境試験所 1名	保健所 小会議室	4/18
食品収去に係る試験品の取扱い研修	食品検体採取マニュアルに沿って説明	生活衛生課 1名 食肉衛生検査所 1名 衛生環境試験所 4名		
環境検査に係る検体の取扱い研修	環境水等採水マニュアルに沿って説明	廃棄物対策課 2名 衛生環境試験所 1名		

② 民間機関等への研修指導

件名	内容	対象者等	場所	実施日
地域保健実習	医学生等への保健衛生及び環境衛生検査についての説明及び実習	獨協医科大学医学部 学生 5名	試験所 2階 臨床検査室	10/30
		自治医科大学医学部 学生 4名		11/20
ゆうパックにより検体を送付するために必要な包装責任者研修会	感染症の病原体の輸送事故を防止するための病原体等の包装・運搬講習会	市内医療機関， 登録衛生検査所等 5名	保健所 大会議室	10/3

4 情報発信

情報発信事業

【事業の目的・内容】

市民の食品の安全性や感染症などへの不安解消に資するため、収集・分析した公衆衛生や調査研究に関する情報を関係機関や市民等へ発信する。

市ホームページや広報紙等の活用に加え、出前講座や親子教室等を開催して、わかりやすく迅速な情報発信の機会を拡充する。

《実績》

① イベント等の開催

件名	内容	対象者等	場所	実施日
出前講座 お届けします「衛生と環境の検査のほなし」	衛生環境試験所の業務に関する講話、マイクロスコープ体験、手洗い体験等	栃木県消費生活リーダー連絡協議会 宇都宮支部 10名	特別養護老人ホームはりがや花の風	6/7
		御幸地区コミュニティ協議会 50名	御幸地域コミュニティセンター	1/22
夏休み親子教室 親子で発見！科学実験教室	科学実験、微生物の顕微鏡観察、衛生関係のパネル展示、手洗い体験等	小学3～6年生 親子 12組 27名	保健所2階 栄養実習室 保健室	7/26
		小学3～6年生 親子 14組 32名	保健所2階 栄養実習室 保健室	7/26
食品安全フェア (生活衛生課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示等	市民 857名	ベルモール	8/4
食育フェア (健康増進課主催)	微生物の顕微鏡観察や衛生関係のパネル展示	市民	城址公園	10/6
小学生向け講座 科学体験教室 (各生涯学習センター等共催)	科学実験、微生物の顕微鏡観察、衛生関係のパネル展示、手洗い体験等	小学4, 5年生 親子 51名	豊郷生涯学習センター	6/22
		小学1～6年生 41名	横川生涯学習センター	8/8
		小学1～6年生 親子 23組 46名	中央生涯学習センター	8/24
		小学1～6年生 24名	宮の原地域コミュニティセンター	11/16
		小学3～6年生 親子 11組 28名	城山生涯学習センター	2/1

② 広報活動等

広報媒体	掲載内容・活用方法
ホームページ更新	試験所の業務内容、検査に関する写真、年報等を掲載 また、市民へわかりやすく情報提供するため、食品Q&Aを追加掲載
パネル展示	写真等で試験検査に関する内容を分かりやすく紹介したパネルを保健所に展示し、来庁者や夏休み親子教室等のイベントで活用